

議会だより

《9月定例会》

- 平成24年度決算の概要 P 2～3
- 平成24年度決算・重点事業とポイント P 4～5
- 一般質問（4名が登壇）..... P 6～9
- 常任委員会活動報告 P 10～11
- 議会活性化委員会、請願書採択 P 12～13
- 防災研修講演 P 14
- 追跡調査！議員の質問とその後の方 P 15
- ようこそみなべ町へ P 16



平成24年度 決算審査特別委員会

本定例会において、田中議長と監査委員の北谷議員を除く12人の議員で構成する決算審査特別委員会を設置し、委員長に中井議員、副委員長に井口議員を互選により決定いたしました。平成24年度みなべ町一般会計並びに各特別会計、水道事業会計の歳入歳出決算について、9月19日、20日、24日の3日間で総務課長・会計管理者同席のもと各担当課と審査いたしました。

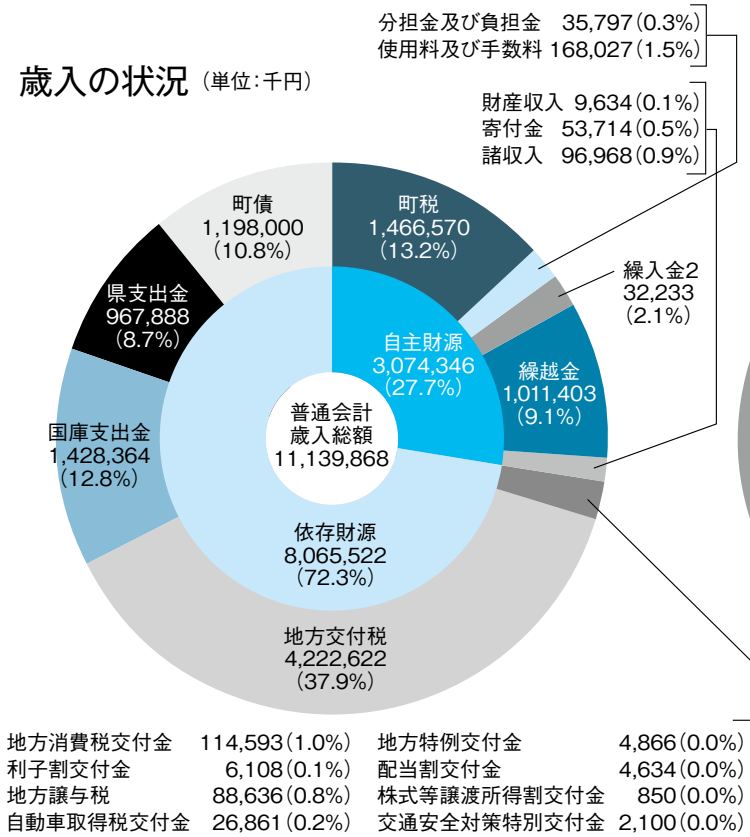
9月定例会

本定例会で、平成24年度の一般会計と7特別会計、水道事業会計の歳入歳出決算の認定9件と、条例一部改正など15件の議案を慎重に審議し、いずれも可決しました。道州制導入に反対する意見書、平成25年度一般会計予算における予算凍結解除等の2件の発議もおこなわれました。一般質問では4人の議員が登場し、活発な質問をしました。

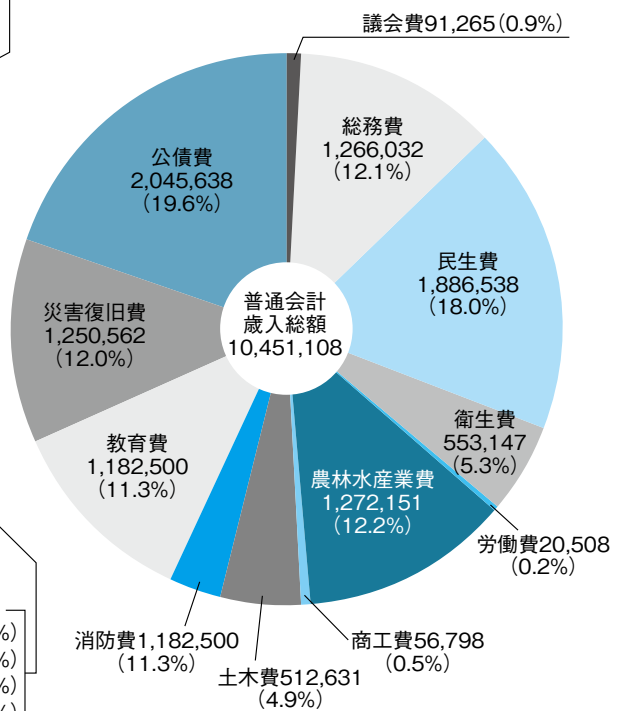
平成24年度会計別決算

	歳入	歳出
一般会計	111億3986万8535円	104億5110万7992円
国民健康保険特別会計	20億3612万8409円	19億8193万0269円
後期高齢者医療特別会計	2億7254万1560円	2億6864万9360円
介護保険特別会計	13億1567万6036円	12億7619万0665円
住宅新築資金等貸付特別会計	1539万5753円	1539万5753円
農業集落排水事業特別会計	2億9515万6237円	2億9201万3831円
公共下水道事業特別会計	5億2464万5140円	5億1136万3689円
簡易水道特別会計	1億860万7401円	9059万8265円

歳入の状況 (単位:千円)



歳出の状況(目的別) (単位:千円)



決算報告

決算審査特別委員会 委員長報告

委員長 中井重雄

審査に当たり、執行部からは教育長・各課長並びに担当職員の出席を求め、決算書及び主要施策成果報告書に基づきながら、それぞれの事業の実施状況などについて説明を求めました。

今回の決算認定にあたり、大きな問題などは見受けられなかったものの、各委員からの意見や要望事項など、主な事項について報告をさせていただきます。

まず、各課共通ですが、当初予算や補正予算の見積もりなどについては、更に入念に精査すること、また諸事情により多額の不用額が出る場合には、減額補正対応などをお願いします。

総務課所管では、財政健全化運営により、実質公債費比率は16.2%と昨年度より1.9ポイント減少して、新たな借金をするとき国や県の許可が必要な基準の18%を下回った。しかし経常収支比率は昨年度より2.6ポイント上昇して83.6%となっており、財政の硬直化が懸念されることから、今後もより一層、良好な財政健全化運営に向けて、取り組んでいくよう要望する。

税務課所管では、町税の収入は前年と比較して若干の増となっていますが、不納欠損額が多く、この理由について説明を受けた。町の主な自主財源でもありますので、今後も課税客体の把握に努め、財源確保のため、和歌山地方税回収機構の活用など、地道ですが徴収率アップに取り組んでいただきたいと思います。

住民環境課所管では、町が管理する公園の範囲について明確な基準を設けられたい。町内の公園には地域や地元区で維持管理している公園もあります。決算では町の条例に定めていない公園の維持管理に支出もされていることから、不公平感のないよう、町民に説明できる基準や制度の検討をお願いします。

建設課所管では、地籍調査については、調査を要望されている地域もありますので、調査区域の拡大について、より一層の推進をお願いします。

うめ課所管では、梅の需要や消費拡大では、従来のイベント等に加え、インターネットの活用など、「みなべ町産の梅」をより一層アピールできる、新たな工夫にも取り組んでいただきたいと思います。多くの維持経費をかけている、うめ振興館、うめ21研究センターの今後については、その目的も含め検討をお願いします。

保健福祉課所管では、特定健診の受診率は和歌山県下でも高いとの説明がありましたが、病気の早期発見、早期治療を進めるため、今後も更なる啓発や工夫により、受診者が増えるよう取り組んでいただきたいと思います。

上下水道課所管では、農業集落排水や公共下水道への未加入の問題については、十分な説明を行い、さらなる加入率の向上につながるような取り組みに努めていただきたいと思います。

産業課所管では、指定管理を行っている、国民宿舎、鶴の湯温泉の経営状況の資料提供、説明を受けました。起債も含め町費を多くつぎ込んでいる施設ですので、契約に基づき的確な対応、指導監督をお願いします。

教育学習課所管では、教育委員会では、各種団体への補助金や助成金の事業が多く、補助団体が毎年同じ傾向です。実績や活動実態を十分精査して、団体の活動に応じた補助を行うことを要望します。現地調査では、千里ヶ丘球場災害復旧工事を確認し、また上南部学童保育の状況を調査して、適正に運営されていることを確認しました。

以上3日間の審査のあと、委員会で決算認定についての採決をとった結果、平成24年度一般会計を始め国民健康保険、後期高齢者医療、介護保険、住宅新築資金等貸付事業、農業集落排水事業、公共下水道事業、簡易水道事業、水道事業会計の各特別会計の決算については、全会一致をもって認定するものと決定いたしました。

最後になりましたが、引き続き、より一層の行財政運営の適正化に努められますよう、お願い申し上げます。

重点事業と注目ポイント

教育

- みなべ町連合婦人会活動補助金 …… 64 万円
- 地域活動連絡協議会補助金 …… 34 万円
- 千里ヶ丘球場災害復旧工事請負費…390 万円



ここがポイント

各種団体への補助金は、実績や活動状態を精査して団体活動に応じた補助を行うことを要望しました。上南部地区に念願の学童保育所が完成し、現在12名の児童が利用しています。

うめ課

- 鳥獣害防止対策補助金 …… 387 万円
- 町農業振興協議会 …… 360 万円
- 南部郷梅対策協議会 …… 470 万円
- うめ 21 研究センター費 …… 1163 万円
- うめ振興館費 …… 1529 万円
- ラジオキャンペーン …… 963 万円



ここがポイント

うめ振興館やうめ21研究センターには、多額の維持経費をかけており、その目的も含め、今後の在り方の検討をお願いしました。特に振興館の電気使用料が321万円と突出して高く、早急な改善を要望しました。

保健・福祉

- 地域生活支援事業 …… 1,655万円
- 障害者自立支援給付 …… 3億4,882万円
- 子ども医療 …… 4,424万円
- 成人保険事業費 …… 2,071万円
- 社会福祉センター維持管理費 …… 521 万円
- 保健福祉センター維持管理費 …… 1,333万円



ここがポイント

特定健診の受診率は、県内では高いとの事ですが新規の受診者は少ないようです。病気の早期発見のためにも一人でも多くの人の受診をお願いします。

建設

- 住宅費 …… 1億2182 万円
- 地籍調査事業費 …… 1億2047 万円
- 災害復旧事業費(公共土木)…… 6億3144 万円



ここがポイント

地籍調査については、谷口周辺の平野部等調査区域の拡大を希望しました。現地調査を行い、国道424号改良工事に伴う、高城西又地区の災害復旧工事現場等を調査。適正に執行されている事を確認しました。

平成24年度 決算

総務

- 公債費、繰上償還の実施 …… 3億1501万円
- 防災対策（工事費） …… 2739万円



ここがポイント

財政健全化を図るため、公債費の繰上償還を行ない、実質公債費比率は、昨年度18.1%から1.9ポイント減少16.2%になりました。今後も、より財政健全化運営に向け取り組んでまいります。防災面では、津波避難路の整備を進めています。

※実質公債比率とは…自治体の収入に対する負債返済の割合を示す。通常、3年間の平均値を使用。18%以上だと、新たな借金をするために国や都道府県の許可が必要。25%以上だと借金を制限される。



産業

- 鶴の湯温泉管理事業費 …… 1269万円
- 小倉谷農免道路 …… 4240万円
- フルーツライン農地造成・道路 …… 884万円
- みなべ町商工会 …… 1470万円
- 国民宿舎設備修繕 …… 380万円



ここがポイント

指定管理を行なっている国民宿舎・鶴の湯温泉について、経営状況の資料提出を求めました。起債を含め、町費を多くつぎ込んでいますので、今後も尚一層適切な指導・監督を行っているか確認してまいります。

住民・環境

- 公園修繕費 …… 568万円
- ゴミ最終処分場周辺工事 …… 1441万円



ここがポイント

公園の管理については、町が管理する範囲を明確にする旨を指導しました。その中で、現地調査を行ない、小目津公園の管理状況及び千鹿浦公園に新設した遊具等調査し、適正に管理、執行していることを確認しました。

なかもと こういち
中本光一 議員



モラル 職員の不祥事について

➔監査以外に所属長がチェック

一般質問は、平成25年9月25日に4人の議員が行ないました。

質問 今回の不祥事は、

教育学習課主任の男性職員が仕事上事務局をしている団体の口座から86万6500円を着服。09年の公金詐欺・贈賄事件以降、職員不祥事再発防止委員会を設け、研修を通じ職員の資質向上に努めてきた。にもかかわらず発生しました。再々発防止のための対策内容をお聞かせ下さい。

町長 検討改善事項と

致しまして、印鑑は所属長が保管をして、担当職員には預けない事。年に一度の会計監査のほか所属長はできれば、毎月通帳のチェックをおこなうよう改善をしています。

教育長 教育委員会と

して職員を集めて二度と起こらない様、チェ

ック体制は町長部局と同様の取り組みを進め、お互いがチェックをしあえるような人間関係を構築し、人づくりの部署でもございますから模範となるべく自分に厳しく、私生活においても公務員としての気持ちをお忘れないうよう指示しました。

再質問 どの様な防止

策を取っても、その網を潜る方策は出てくると思います。最終的には、職員一人ひとりの自覚とモラル、そして最高責任者の心配り、気配りだと思います。町民が信頼出来る管理体制の徹底を再度お願い

しておきます。

生活 町道の整備を！ ④補助事業、時期を見て検討

質問 セレモニーホー

ルみなべ様とヤクルト様の間を曲り、たかかはらだばしを経て熊岡に通じる町道の今後の整備計画の内容についてお聞かせ下さい。

町長 町道田辺ヶ坪大

坪線、高原田橋、高原田一号线、終点が町道熊岡高原田線での間523㍎・土羽構造の道路です。規格は車道付近が4㍎、両側路0.5㍎の全幅5㍎です。今後の整備計画については、黒潮フルツライ

ン農地総合整備事業により整備された道路で、これで完成です。

再質問 徳蔵沖田線が

非常に綺麗な道路になっていきますので、ゆくゆくは両側に擁壁をして通り易い道にして頂きたいと思えます。

町長 農林水産省の補

助金を頂いた道路で形態としては土羽構造という形なっています。今後の利用目的とか交通量を勘案して、社会情勢の変化に対応して、時期が来れば50センチずつ、横をコンクリートで立ち上げて舗装すれば5㍎十分の道路になると思いますので、時期を見て検討するよう考えています。

防災 避難タワーの進捗状況は

①一日でも早く対策を

質問 3月議会にも質

問させて頂きましたが、避難困難地域の津波避難タワーの設置について、進捗状況をお聞かせ下さい。

町長 一日でも早く対策を取りたいと考えています。都合によりましては、国・県の補助

金が無くてもやらなければならぬものは進めていく決意で頑張ります。

※他の質問

●保育園・幼稚園・小

中学校の災害時応急

対策

●町職員・議員の服装

●町のホームページ



たかはらだし付近



避難タワー (田辺市文里)



しもむら つとむ
下村 勤 議員

生活 給食センターの運営について

➔給食費の滞納対策・地元で食材を

質問 今年度から全校学校給食が実施されるようになり、大変喜ばしいことであります。そこで伺います。多額の前算計上をされていますが、現段階での歳入を教えてください。

教育長 歳入予算で、7412万4千円の材料費を、予算計上しています。給食費は、町民の皆さんにも解つていただけるよう公にする形で、歳入予算を計上しています。内訳は、小学校分一食250円、年間200日を想定しています。約940名で、4700万円の歳入、中学校は、一食270円で200日、492名で、2656万8千円です。センターが始まって半年が経過していますが、残念ながら9校で51万7500円が未納となっています。



南部小学校での給食風景

地元をまず優先し、地元で賄えられないものは、県内産、国内産にしています。調味料については、4業者でその内3業者は町内業者です。町内3業者を優先して月別で発注しているところ

です。みなべ町の業者の方々の育成にも貢献したいと思っています。また、以前から納入実績のある業者にも、通知しているところで、3月末までに登録申請があった業者については、実績を加味して認定をしています。このような形で町内業者の育成にも配慮させていただきます。

再質問 食材や調味料の納入は地元優先に納入業者の認定は？
教育長 みなべ平野でできる食材を子供たちには食べてもらいたいこと、は大変すばらしいことであります。

した場合は、生鮮食料品については一定の保証を今後考えてはどうか。
教育長 町内業者の育成については、十分配慮し一時的に、業者に偏ることのないよう担当課に指示をしていきます。給食が中止になった場合は、納入業者に大変ご迷惑を掛けて甘えているところもあり、今後処分できない分については、配慮する必要がありますか？と考えています。

農業

捕獲確認の簡素化 ↓郡、県に要望

今後提案していきたいと思っております。今後、県、国で確認の不備で適用にならない場合は、町では一頭当たりいくらと予算を組んでいますので、粛々と補助をしていき農産物への被害の軽減に努めて行きます。

質問 今年6月から、有害鳥獣捕獲の確認方法が改正されましたが、もう少し簡素化はできないですか。
町長 日高地域鳥獣被害対策本部の会議に提案し県全体の要望事項として改めていく必要があるかと思っております。

町長 県下では十一市町で実施隊が設置されています。国からはメリットがたくさんあると聞いていますが、デメリットの部分は解りませんので、地元猟友会と十分話し合いを行い、設置の方向に向けて相談をしてまいります。

さきよしのり
佐々木香徳 議員



生活 通学混雑でJRの態度

➔ 混雑緩和に向け4両確保を要求

質問 朝7時台の田辺行が2両に減り混雑。郡町村会が増結か臨時便延長を要望し拒否された。何両にすればラッシュ緩和か。JRは「ベンチ型車両」に取り替えを逆提案したが、取替後は何両か。JRは車両不足と言い、県・町村会も追認するが、嘘だ。田辺駅構内で前夜から留置の2両編成があり、定期便4両化可能。JR自身が気づかないはずがない。行政はなめられている。

町長 実情を汲んでもらえず非常に残念です。8時台は4両編成です。7時台もこれを強く要望したいと思えます。取替後も2両になります。

再質問 「ベンチ型」は普通「ロングシート」と言うが、けしからん提案だ。2両編成は変えざるを得ない。席も少ないが座り心地も悪くサービス低下だ。窓に背中を向け景色も楽しめず観光客から敬遠される。11年前、旧町議会で指摘された悪名高き車両。朝「格落ち車両」に替えると、昼も夜もそのままに。ラッシュ対策も105系2両と113系4両のどちらが輸送力が大きいか誰でもわかる。振興局長はベンチ型への切り替えを肯定しサービス低下を要求し「JRに言い負け」とはこういうこと。

町長 ロングシートになれば指摘のようなことが起こりえます。今走っている列車4両を継続してもらおうのが手っ取り早いと考えます。

再々質問 田辺駅の車両に、町職員が気づかないのか。気づいても



言えないのか。

町長 一晩中、止まっているのを数度見たことがあります。利用できるか聞いてみたいと思います。

写真説明（前夜から留置したままの113系（左）と、満員で到着する113系の列車（右）） 〓 紀伊田辺駅で午前7時50分撮影

モラル 職員不祥事・情報が不十分

質問 刑事告発なしだが、刑事訴訟法239条は、民間人は告発できる、公務員は「しなければならぬ」と規定。考慮したのか。

町長 考慮しました。職務がどこまでか、犯罪もケースバイケースです。文面の解釈の違いであろうかと思えます。

再質問 発表した情報が不十分。不正引出しが勤務時間外か時間内かすら分からない。

町長 借金など私生活

の部分は公表していません。

教育長 昼間に不正支出をしていました。

再々質問 夜こっそりか、白昼堂々かにより、処分結果に納得できるか否かも変わる。

- 再び梅干価格・在庫と消費税外税化
- うめ振興館の将来
- ※他の質問
- フリーゲージ特急は県と一線を
- 教育長 そのとき勤務中かどうか確認とつていませんが、見抜けなかった上司の至らなさは反省しております。



しんぞう けんじ 議員
真造賢二

産業 うめ振興館の目的・活用について

➡ 思い切った転換必要、検討委員会設置



うめ振興館 1階踊り場

質問 来場者が年々減少してきており、本来の「日本一の梅の町を全国に情報発信」という目的が失われつつあるのではないかと？年々1500万円の巨費を投じつつ維持し続ける意義はあるのか？地元食材を活かしたレストランや観光拠点、産直市、文化交流センター等、この施設をフルに活用するような複合施設に大きく方向転換してはどうか？

町長 振興館の在り方についてどうするか、関係機関の方々に寄っていただいで検討を行いたい。

思いっきり方向転換をする必要があるのでは

はないかと実感していません。ただ、国の補助金を受け建設しているため用途には制約があります。可能な範囲で極力多くの方々に来てもらうために何が必要か研究を進めていきたいと考えています。

再質問 町民の中には素晴らしいアイデアを持った方がいらっしゃると思います、ぜひその方々も検討委員会に加えて頂きたい。

町長 従来のごうした検討委員会はメンバーが固定され、硬直化された感は否めません。町民の皆さんからも広く意見を募ることも検討してまいります。

防災 災害時の分散 備蓄について

↓ 公民館等に分散備蓄

質問 現在町の備蓄は埴田防災倉庫、役場の2か所に備蓄されているが、大災害時に即時にこの2か所から避難所への物資供給は困難。緊急に分散備蓄する必要があるのではないかと？また現在の備蓄は毛布、工具類、テント、タンク、ボート

等のみで食料や水、燃料、トイレ用品等の命を支える物資の備蓄は皆無。対策が必要では



埴田防災倉庫内部

ないか？

町長 各地域の公民館等の町内5か所への備蓄を検討中で、耐用年数の長い食料や水、燃料、トイレ用品等を備蓄予定、また避難訓練の際に耐用年数のくる食料を消化しながら、ところん方式で更新を図っていく考えです。

モラル 職員不祥事再発防止

↓ 3年で配置転換

質問 町は不正防止策として通帳と印鑑の別管理ということが新聞報道されてきました。それは、有効だがあくまでも対処方法だ。抜本的な対策は、行政

のトップが公正な姿勢、厳格な態度を示し続け、職員の資質向上をはかることでは？その前提として採用の透明性の確保、条件附採用期間の厳格な適用が必要ではないか？

町長 採用試験結果は公表に努めており、透明性は可能な限り保っているかと確信しています。また条件附採用期間については形骸化している感があり見直しを検討いたします。

再質問 同じ職場に長くいるのは不正の温床になりがちでは。何年で配置転換するなどのルールが必要ではないか？

町長 確かに固定化された職場があることは重々承知しています。すべての各課を回っていると、町民から何を聞かれても即答できるといって考えもあり、基本的には3年サイクルでやってみたいと思います。ただ、職種によつてそうはいかない部分もあります。できるだけ勤務年数の長い職員は早急に異動させたいと考えています。

産業建設常任委員会 活動報告

7月18日にごみ問題について、いち早く取り組んでいる徳島県上勝町を視察しました。

上勝町は、未来の子供たちにきれいな空気やおいしい水、豊かな大地を継承するため、2020年までに、ごみをゼロにすることを決意し、ゼロウェイスト運動に取り組んでおります。

運動の特徴

・ごみは各自が「ごみステーション」へ

上勝町ではごみ収集車が走ってなく、町内で一ヶ所の「ごみステーション」に自分で持っていきます。年末年始を除き基本的には年中無休で、自分の都合のいい時間にごみを持ち込むことができます。持ち込みが大変な方には、二か月に一度取りに行っています。



町内一か所のごみステーション

・34種類に分別

ごみステーションでは、各自が34種類に分別しています。リサイクル業者の種類がその程度の数があるからです。34種類に分別されたごみは、焼却・埋め立てごみを除いて、それぞれ「資源」として活用されるためリサイクル業者に回収されています。実際にここに集まったごみの72%が、リサイクルされて再資源化されています。

・みんなに分かりやすい分別

実際には34種類以上に細かく分別されています。トイレトペーパーの芯は雑誌などと同じ種類になるが、芯だけを集めて持ってくる方が多く、それならそれで集めることにして、集めやすく、分かりやすい分別に努められています。



34種類の分別方法の説明

・生ごみは各家庭で自然に還す

ごみステーションには、一般家庭から出る生ごみを捨てることはありません。自分の家で土に還しています。設備や機械は、上勝町のほぼ100%の家庭に普及しています。町から購入補助あり、各世帯1万円の自己負担で購入できます。

運営については、NPOメンバー1名と、シルバー4名の5名でおこなっています。年間の処理費用は約1800万円で、そのうち人件費は約800万円。年間の売上は約800万円で、それは全て町の収入となります。



分別の様子



NPOメンバーからの説明

総務文教常任委員会 活動報告

7月19日 津波避難対策を目的に徳島県美波町の視察を行いました。

徳島視察の2日目は海部郡美波町へ。徳島市内から南西へ約50km、1時間半の道のり。地図上で、みなべ町からまっすぐ西へ行くと美波町である。日和佐町と由岐町が合併して誕生した人口7700人、面積140km²の町で、NHKテレビ「ウエルかめ」の舞台でもある。海亀の産卵地という点で、みなべ町とも共通点がある。

旧由岐町役場で、町議会防災対策特別委員会の議員3人（うち1人は副議長）と議会事務局長、町消防防災課長が迎えていただき、1時間15分ほど説明を受けたり意見交換をしたりした。

津波に関する同町の特徴は、徳島県内に8箇所ある「避難困難地域」のうち4箇所が存在すること。避難タワーが2基あること。20mの津波予想が発表された阿部（あぶ）地区で住民手作りの“マイ避難路”20本以上が整備されたこと、など。

地形はリアス式海岸で、“高台の平たい土地”はなく、高台へというより山へ逃げるといったことだった。地震発生から津波第1波までの時間は10～12分の予想だ。



意見交換会の様子

阿部自主防災会の防災マップも見せてもらった。海拔20mを示す線や、集合地点、要援護者・率先避難者・消防団員のいる家が色分けで明示されていた。

美波町では、老朽化し概ね10年以上放置された空き家を解体する際に、所有者等を対象に解体費の3分の2（限度60万円）を補助する制度を今年度から試行。既に申し込みが超過した。ただし、解体すると土地の固定資産税が上がる問題は解決されていない。

また、自治組織を対象に、老朽家屋を取り壊して避難路や防災広場を確保する場合の解体費、整地費などの3分の2（限度150万円）を補助する事業も実施する。



津波避難道

意見交換の後、旧役場を出て、由岐地区に整備された津波避難場所に全員で登った。急傾斜崩壊対策と一体で実施されたもので、山の斜面に向かう階段と滞留場所（平面）が設置されている。1段目はT.P.（東京湾平均海面）15m、2段目が同21m、3段目が同26.5m、最上段が同34m。4段合計539m²の広さがある。2006年度から取り掛かり2011年3月に完成した。

日和佐地区に移動し、2007年度に整備された日和佐浦地区津波避難タワーを見学した。

T.P.1.8m地点の県有地に設置され、地面から避難ステージ（床）の高さは5.8m（計7.6m）。床の面積は50m²。誘導灯と資機材倉庫がある。事業費は1800万円。現状でも想定津波高T.P.6.11mは上回るが、かさ上げを検討中ということだ。

周囲は漁師町特有の狭い路地が入り組み、古い家屋が密集している。高齢者の比率が約50%。タワー自体は、田辺市文里にある物と同じ会社が製作し、似た感じだ。

タワー上から見渡すと、500～600m先の山肌に駆け上がり階段が見え、もう1箇所の階段が工事中だった。しかし、どちらも密集地帯を通り抜ける必要があり、10分そこそこの間は合いそうもない。



津波避難タワー

議会活性化特別委員会 報告

9月30日に行われた定例会において、町ごみ焼却場が平成25年度末で閉鎖されることに伴い、3月定例会において町が25年度当初予算に計上した車両購入費（2080万円）を議会が「一時凍結」したことについて、「凍結は解除するとの決議案」を議員発議して可決しました。議会閉会后、下記決議文および活性化委員会での各委員の意見をとりまとめた書類を町長に手渡しました。

凍結決議後、産業建設委員会の所轄として協議を重ね、その後これは大きな課題であり、全員で協議すべきとの判断から、その場を議会活性化委員会に移し、下記の通り協議を重ねて参りました。必要に応じ住民環境課も交え、正に頭を付き合わせながら双方のアイデアを出し合い、町にとってどうあるのが望ましいのかを探って参りました。その結果、下記決議書の結論に至りました。

- ・ 4月23日 産業常任委員会、住民環境課（すさみ町ごみ焼却場視察）
- ・ 5月30日 産業常任委員会、住民環境課
- ・ 8月19日 議会活性化委員会
- ・ 9月 2日 議会活性化委員会、住民環境課
- ・ 9月12日 議会活性化委員会

平成25年度みなべ町一般会計予算における予算凍結解除

平成25年第1回定例会に提出された、議案第22号平成25年度みなべ町一般会計予算については、予算審査特別委員長の「原案の4款 衛生費、2項清掃費 1日 塵芥処理費、18節 備品購入費2080万円は凍結したうえで、原案のとおり可決すべきもの」との意見を付けた報告があり、本会議において一般会計予算は原案可決した。

当該備品購入費の内容は、みなべ町のごみ焼却施設が平成26年3月末をもって閉鎖され、燃えるごみは今後3年間すさみ町での焼却となることから、現在の焼却場へ持ち込まれている直接搬入ごみを運搬するための、パッカー車1台とダンプ1台を町で購入するとの説明であった。しかし、議会としては、現在ごみの収集委託をしている事業者での対応や、事業系一般ごみの自己処理への転換によって直接搬入ごみの減量は可能ではないかとの趣旨から、検討が必要と判断し予算凍結としたものであるこの問題は、産業建設常任委員会の所管として、本年度当初から検討を重ね、平成25年8月からは、全議員が認識すべき事項であるとの判断から議会活性化特別委員会の所管に移行して、町当局の説明を受けて議論を重ねてきた。議会活性化特別委員会では車両購入の必要性についてだけでなく、みなべ町ごみ処理行政の将来のあるべき姿について幅広く議論がなされた。

その結果、焼却場の閉鎖までは短期間であり、現行の収集業務委託内容の変更や直接搬入ごみの減量、制度の見直しがすぐには困難なこと、また受け入れ先のすさみ町の作業時間の都合や、焼却灰のみなべ町への運搬などを考慮すると、町当局は当面必要な運搬車両の購入予算を計上されたと受け止めるに至った。

上記のことから、パッカー車等の購入に係る予算の凍結は解除する。

なお、車両の準備においては、業者委託への変更の検討も含め、効率的な予算執行を行い、車両の運用委託についても、安易に既存の考え方に固執することなく、また、委託先のすさみ町にご迷惑のかからないように徹底したごみの分別について町民に協力を求め、今後の中・長期的な目標として、なお一層の資源ゴミのリサイクルの推進、問題となっている直接搬入ごみの見直しなど、町民の理解と協力を得て改革を進め、みなべ町のごみ処理行政について、しっかりとしたビジョンを持って取り組みを実施されるよう強く求めるものである。

以上、決議する。

平成25年9月30日
みなべ町議会

意見書採択・提出

9月定例会において総務文教委員会から「道州制導入に断固反対する意見書（案）」が発議され、全会一致で決議されました。下記の通り、意見書として関係各所へ提出しました。

道州制導入に断固反対する意見書

我々町村議会は、平成20年以来、町村議会議長全国大会において、その総意により、「住民自治の推進に逆行する道州制は行わないこと。」を決定し、本年4月15日には、全国町村議会議長会が「町村や国民に対して丁寧な説明や真摯な議論もないまま、道州制の導入が決定したかのごとき法案が提出されようとしていることは誠に遺憾である。」とする緊急声明を行った。さらに、7月18日には、「道州制は絶対に導入しないこと。」とする要望を決定し、政府・国会に対し、要請してきたところである。

しかしながら、与党においては、道州制導入を目指す法案の国会への提出の動きが依然としてみられ、また、野党の一部においては、既に「道州制への移行のための改革基本法案」を第183回国会へ提出し、衆議院内閣委員会において閉会中審査となっているなど、我々の要請を無視するかの動きをみせている。

これらの法案は、道州制導入後の国の具体的なかたちを示さないまま、期限を区切った導入ありきの内容となっており、事務権限の受け皿という名目のもと、ほとんどの町村においては、事実上の合併を余儀なくされるおそれが高いうえ、道州はもとより再編された「基礎自治体」は、現在の市町村や都道府県に比べ、住民と行政との距離が格段に遠くなり、住民自治が衰退してしまうことは明らかである。

町村は、これまで国民の生活を支えるため、食料供給、水源涵養、国土保全に努め、伝統・文化を守り、自然を活かした地場産業を創出し、住民とともに個性あるまちづくりを進めてきた。それにもかかわらず、効率性や経済性を優先し、地域の伝統や文化、郷土意識を無視してつくり上げる大規模な団体は、住民を置き去りにするものであり、到底地方自治体と呼べるものではない。多様な自治体の存在を認め、個々の自治体の活力を高めることが、ひいては、全体としての国力の増強につながるものであると確信している。

よって、我々みなべ町議会は、道州制の導入に断固反対する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成25年9月30日

和歌山県日高郡みなべ町議会

提出先

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、内閣法第九条の第一順位指定大臣（副総理）、内閣官房長官 総務大臣、内閣府特命担当大臣（地方分権改革）、道州制担当

「消費税増税中止に関する意見書提出を求める請願」（紹介議員 池田議員）が提出されましたが、総務文教常任委員会で審議した結果、継続審議となっています。

防災研修講演

自治体はどのように東日本大震災に対応したか 震災日、翌日、1週間、1カ月、住民・自治体は？



10月10日に、みなべ町庁舎におきまして、福島県新地町復興推進課 鶴田芳文課長をお招きし、町職員を対象とした研修会が行われました。

新地町は、福島県の海岸沿いの最北端、宮城県との県境に位置し、人口は約8000人の町であり東日本大震災で津波に襲われ甚大な被害を受けました。

この研修には町職員以外にも、自主防災連絡協議会、消防団、そして我々町議

会にお声を掛けていただき、多くの皆様が参加いたしました。

鶴田課長のお話では、被災後の職員は避難所の対応と遺体安置所の対応に追われ、休む暇もなかったが、つらい毎日が続くも職員は役場に泊まりながら誰も帰ることなく、声を掛け合って災害を乗り越えたそうです。避難者数は2300人余り。3日後から少しずつ原発の水素爆発により避難者数は減っていくが1週間ぐらい経過すると、食料や洗剤、粉ミルク、オムツ、カイロなどの食料以外の要請が出てくるようになったそうです。ボランティアの活動も大変ありがたく、心が和んだそうです。

また、津波で被災した沿岸部の土地を町が買い取って、再建の資金にしてもらうようにし、高台に新たな宅地を7か所作ります。その宅地の区画整備やまちづくりを、住民参加型のワークショップをおこない、住民の声を聞き入れています。そして、ワークショップを行うことで、事前にコミュニケーションづくりも行なうことも出来たそうです。

住民こそ復興の主体であり、できるだけ住民の思いを実現するのが町の役割、という理念を実現できたと考えます。

みなべ町では、国土交通省から全国市町村に職員支援の要請があり、当町職員の越本進男さん（建設課 都市計画係長）が自ら志願し、平成24年4月から、被災地へ職員出向しています。鶴田課長をはじめ18名の復興推進課の中に越本さんも入って活動をされています。

津波被害にあった沿岸部の土地を町が買い上げて、再建の資金に充てていただき、集団移転をしていただけるように尽力されています。



越本進男さん



追跡調査 議員の質問とその後の行方

あなとき、議員が一般質問した内容や各委員会が提言した内容が、町施策にどのような内容で反映したかを確認するための調査です。

平成21年3月定例会 一般質問

- みなべ町の活性化について
- ・ 梅林以外の観光集客の方法
 - ・ わかやま紀州館派遣について

町長答弁

観光協会を中心に誘致活動し、また「みなべウォーク」を開催し、町のPRに取り組む。

どうなった

結果

- 梅林以外の観光集客方法
町の地域資源を活用した体験型観光を観光協会が中心となり積極的に誘致活動中。また、みなべ観光ボランティアガイドの会による「みなべウォーク」開催。今後も関係機関が一体になって町のPR・観光集客に取り組んでまいります。
- わかやま紀州館派遣について
わかやま紀州館での研修では旅行会社、観光関連会社、マスコミ関係者との交流による人とのつながり、新商品の企画・営業方法について知識の取得等大きなメリットがありました。

平成21年3月定例会 一般質問

学力向上のための
授業の工夫改善は？

町長答弁

小学生は県平均に対し低く、中学生は県、国平均よりおおむね上位。学力向上の工夫が必要。

どうなった

結果

- 学力向上のための工夫
各学校での分析、個別対応、教え方の工夫、授業規律の徹底、学校一丸となった取組をしていきます。
- ゆとり教育の見直し
各学校において授業時間数確保の工夫を行っています。また地域と子供の関わり、家庭における子供の役割、子供同士の集団活動等を大切にしつつ、知徳体のバランスのとれた健全育成に取り組んでいきます。

☆お☆知☆ら☆せ☆

12月議会を傍聴しませんか？

第4回みなべ町議会
定例会開催予定

- 開会 12月12日(木)
- 一般質問 12月18日(水)
- 議案審議・閉会 12月20日(金)

今、町でどんなことが論議されているのだろうか？どんな計画があってどう進んでいるのだろうか？あなたの生活に関わることがたくさんあります。気軽に傍聴においでください。



鹿島の夕日

●議会や議会だよりへの意見や感想を募集しています。どんなことでも構いません、議会事務局または提案箱までお寄せください。

みなべ町議会だより No.34
平成25年11月1日発行
発行 みなべ町議会
編集 議会広報特別委員会
〒645-0002
和歌山県日高郡みなべ町芝742
TEL 0739-72-1334
FAX 0739-72-1335

ようこそみなべ町へ

他市町から嫁いで来られたお嫁さんの紹介コーナーです



なが い あゆみ よしかず
永井 歩さん & 良和さんご夫妻 (東本庄)

みなべ町へ嫁いで来たお嫁さん、今回は田辺市稲成町出身で平成24年4月11日に、永井良和さん(東本庄)と結婚されました永井歩(旧姓:山本)さんの紹介です。

Q どんなきっかけで、良和さんと知り合いましたか？

→友人夫婦の紹介です。

Q みなべ町に嫁いできて感じたことは？

→ご近所の方々や出会う方が、とても親切で優しくしてくださり感謝しています。笑顔が素敵で明るく元気な町だなあと思い、みなさんからたくさんのパワーを頂いています。

Q 町での生活はどうか？

(楽しい新婚生活のエピソードもあればお聞かせ下さい。)

→旦那の友人や地域の方々との集まりなど、新しい出会いもたくさんあり、野球チームの応援やソフトバレー活動も仲間達と一緒に楽しんでいます。

Q 町に望むことはありますか？

→とても自然豊かで人柄も良い町なので、もっと活気があり元気で住みよい町にしてほしいです。

◎永井 歩さん、ご協力ありがとうございました。

編集後記

今年の猛暑もすぎ、朝夕は秋の訪れを感じる今日この頃です。

今年は台風の直撃も今のところなく爽やかな夏秋となり、梅の過剰なも気になります。

また政界ではトタバタと消費税アップなど今後の市場がどうなるのか心配です。

常に私たち編集委員は、皆様への確かな情報提供、議会の様子を紙面でお伝えしております。今後、委員一同一層の努力を重ねて参ります。

広報特別委員会

委員 楠本 誠一

【お詫言】
33号「ようこそみなべ町へ」のコーナーで殿畑葵さんの読みを「あおい」としていましたが、正しくは「まもる」です。大変申し訳ありませんでした。